

# カジエビにおける思春期保健の現状

—妊婦体験をきっかけに若年妊娠防止を図る—

---

2018—1次隊

公衆衛生 田島みなみ

# 自己紹介

---

▽看護師・助産師

▽公衆衛生 3代目 GHS配属

▽任地:オチ州(旧ボルタ州北部) カジェビ郡

- ・ 普段は母子保健部門(Reproductive and Child Health Unit)で  
コミュニティヘルスナーズの業務補佐と助言  
→乳幼児健診・家庭訪問・学校訪問・ヘルススクリーニング・  
ワクチンキャンペーンなど

カジェビにおける思春期保健の現状  
—妊婦体験を通して若年妊娠防止を図る—

# テーマ設定の主な理由

▽妊娠中

まずは中学校で妊婦体験をする😊

性関する興味や行動などの

現状を把握するためにアンケートもとる👉

▽英語のできる活動...

# 調査概要 (現在まで)

---

## 期間

2019年10月より開始

## 対象

カジェビ郡 カジェビサーキットの公立中学校6校: Form1-3の全733人

## 方法

妊婦体験(胎児の成長過程の説明や簡単な性教育を含む)とアンケート記入

# 妊婦体験

---

- 約10キロの重さを持たせた妊婦ジャケット
- 立つ、座る、寝る、靴下をはく、重いものを運ぶなどの日常動作を行う



# 生徒へのメッセージ

▽妊娠の負担、中学生で妊娠するリスク

▽The ABC approach

- **A**bstinence/**A**bstain from sex
- **B**e Faithful to your partner
- Use a **C**ondom



⇒妊娠を防ぐ目的だけでなく性感染症予防として必ずコンドームを使用すること

+正しい選択をして、必ず卒業して、望んだ職業につけるように  
お母さんに感謝してね (所謂‘いのちの授業’?)

# レッスン後のアンケート項目

---

▽満足度(5段階)

▽レッスン後に自分の将来や人生を考えたか

▽レッスン後になにか行動を起こしたか

▽思春期保健に関するほかのトピックのレッスンを受けたいか

▽思春期保健に関するディスカッションの機会があれば参加したいか

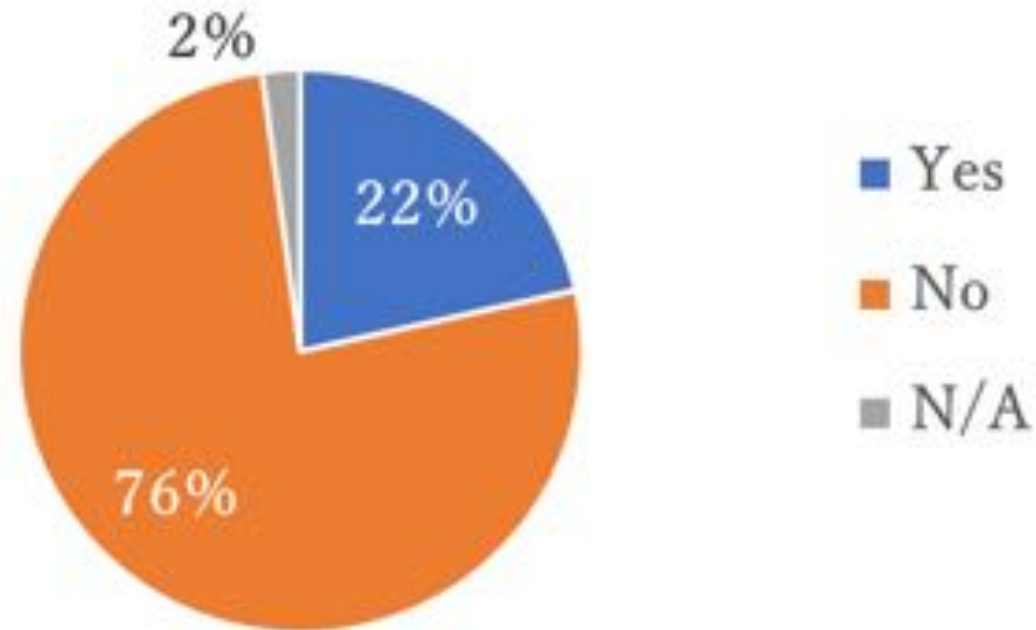
▽性行動について

- これまでに性交渉の経験はあるか
- 在学中に性交渉を持つかor性交渉を避けるか
- なにか悩みがあったときにそれを打ち明けられるか

▽ どんな悩みがあるか

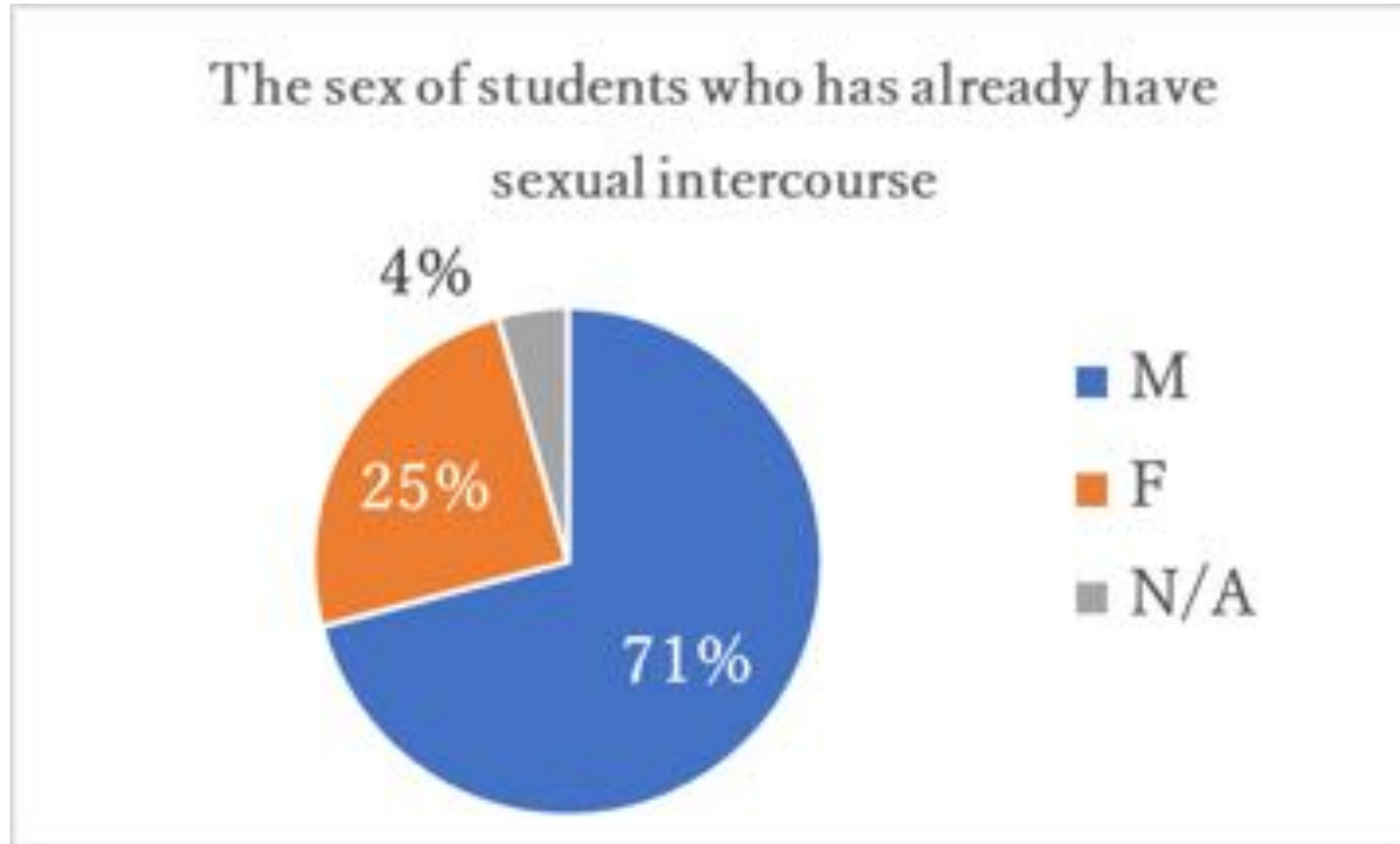
# 結果 : Sexual Activities, 性交渉の経験

5-1) Have you ever had sexual intercourse?

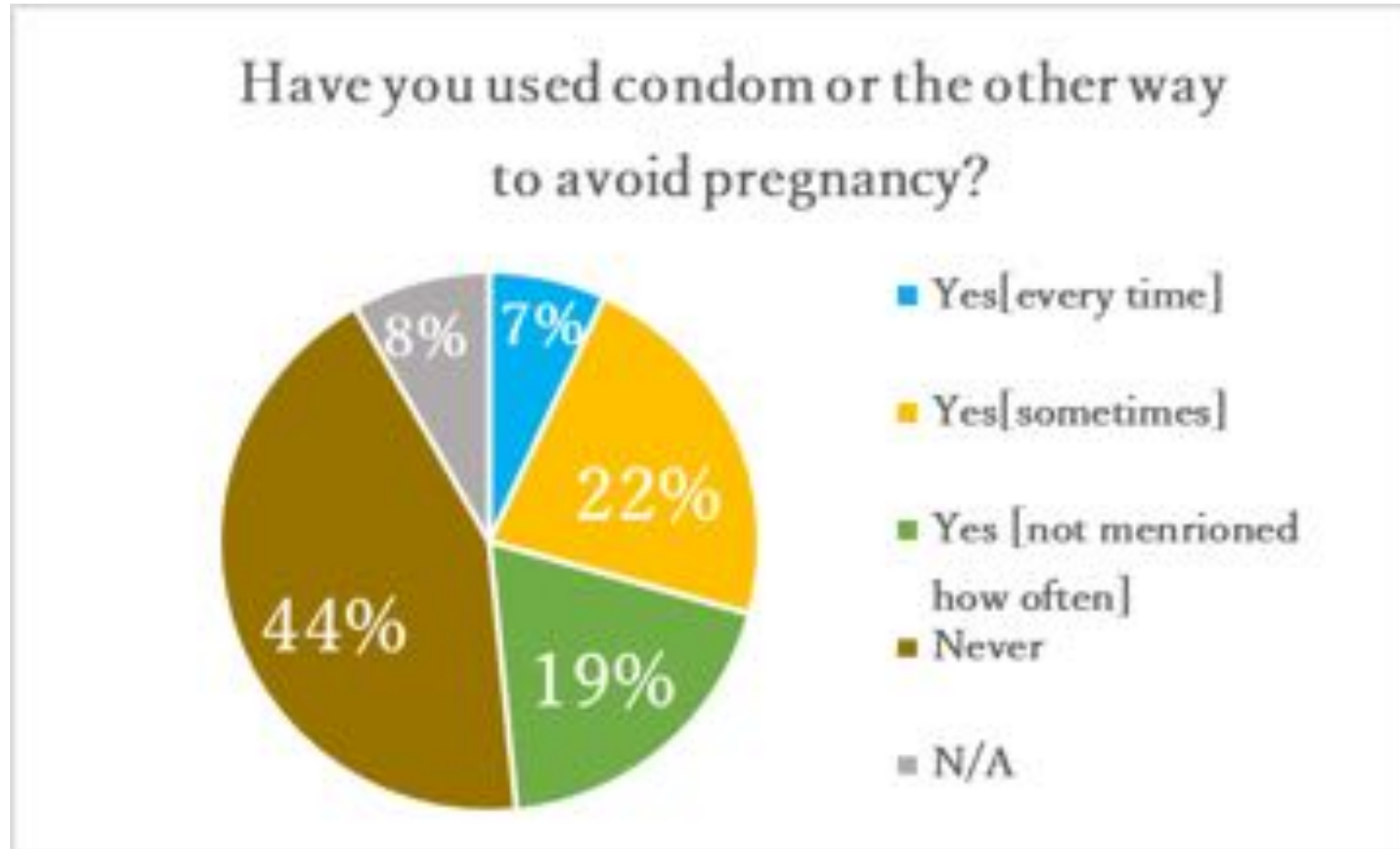




# 結果：性交渉経験のある生徒の男女比

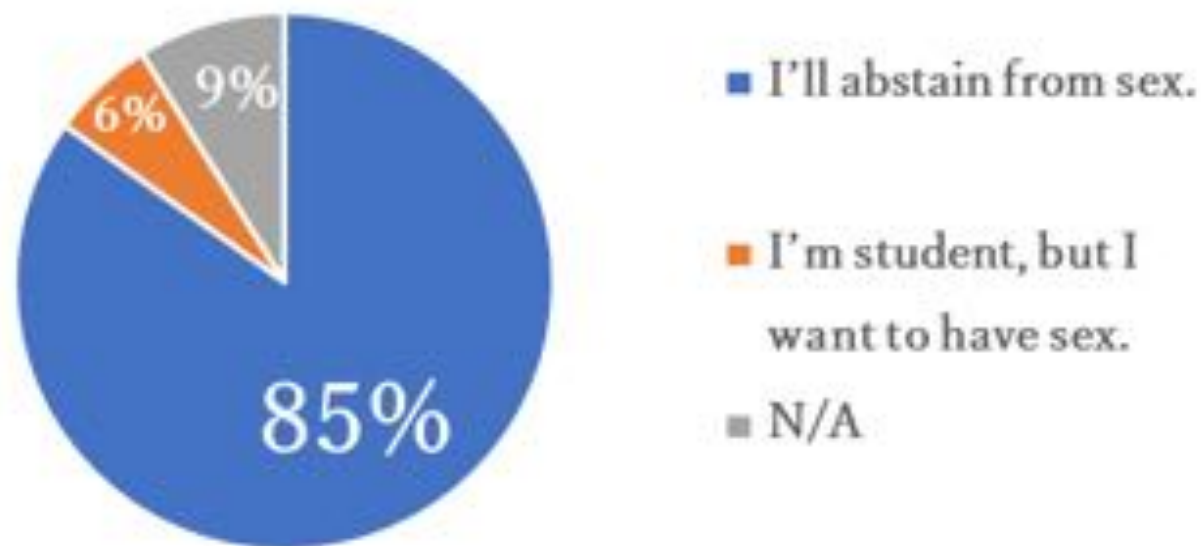


# 結果：避妊法の有無と頻度



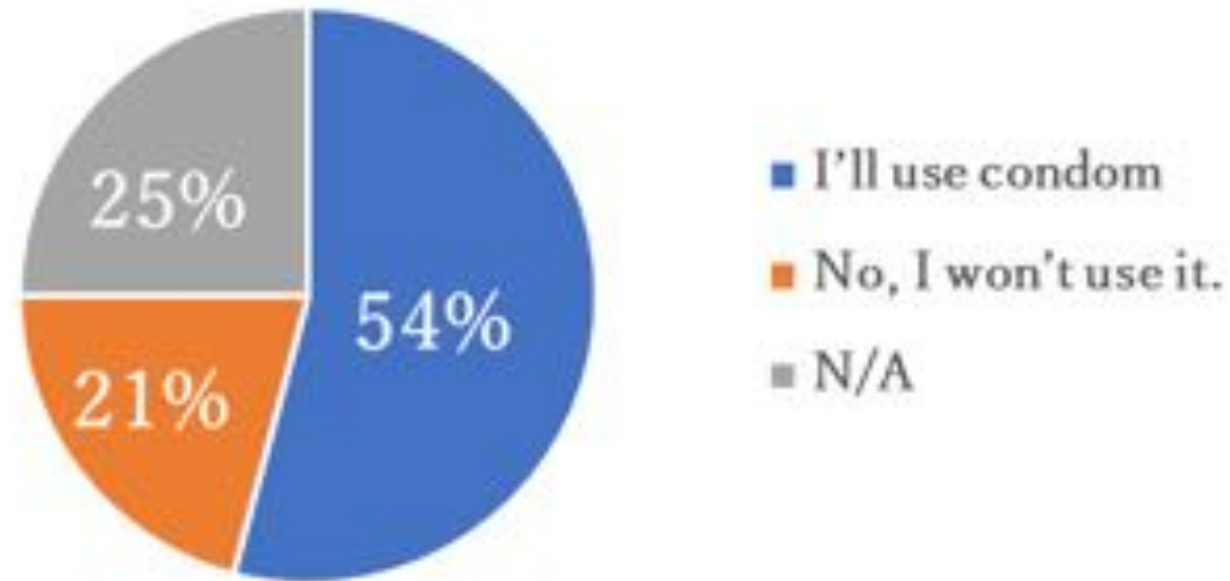
# 結果：在学中に性交渉を持つか (4校)

2) You are a student now. Do you abstain from sex or have sex?



# 結果：性交渉を持つと答えた生徒

If you marked  I'm student, but I want to have sex., will you use condom or not? Why?



# 妊娠によるDropout

---

2018年 カジエビ郡内全体で35 (カジエビサーキットで5)

2019年 カジエビ郡内全体で17 (カジエビサーキットで3)

⇒SHSは含まれていない。去年おととして数は減っている

ここで聞いたこと 

「どんなに言っても彼らは性交渉を持つ。でも妊娠したくない子はちゃんとFPIに行く。コンドームも使ってSTIsの予防もする」

# 薬局でのコンドーム購入者

▽一週間で何人のteenagerが来るか数えてもらった

・A店(ヘルスセンターに近い薬局)

	月	火	水	木	金	土	日
男	2	0	2	3	2	3	1
女	0	0	0	0	0	0	0

・B店(ステーション横の薬局)

	月	火	水	木	金	土	日
男	0	2	0	2	3	3	-
女	3	1	0	0	0	0	--

# Emergency Contraceptive

---

▽緊急避妊ピル(モーニングアフターピル)について

本来は緊急時のみに服用するもので、常用するものではない!!

・B店での購入者数:緊急避妊ピル購入者

	月	火	水	木	金	土	日
男	2	0	0	0	0	0	-
女	3	2	4	1	2	3	-

⇒コンドーム購入者より3人多い

# Depo-Provera (デポ・プロベラ)

圧倒的No.1

▽日本では未認可(100か国以上で認可)、注射

▽3か月毎に黄体ホルモンを筋肉注射

▽一般的な使用で避妊効果は95-99%以上

▽1回の注射: 2GHS



- Family Planningにくる女性のほとんどがDepo.継続利用者
- 短時間で効果も高く、安い
- 副作用(頭痛・生理不順・体重増加～血栓症・骨粗しょう症?)
- STDsは予防できない 使用中止後、すぐには妊娠できない



# ここまででわかったこと・問題

---

▽保健教育(理科の範囲も含め)は足りていない

▽STIs(HIV・AIDS等)の感染を避けたい理由でコンドームを使用する傾向にある

▽避妊法としての緊急避妊ピルの常用は問題

▽避妊具はどれも彼ら自身で手に入る程度の価格で利用できる

▽利用率:薬局 > ヘルスセンター

# 仮説

---

▽知識を与えられることによって、生徒らのなかでコンドーム購入者が増えたり、デポ・プロベラ使用者が増えたり、緊急避妊ピル使用者が減る

▽ 理科教員と一緒にReproductive Systemに関する授業を行うことで、その後同様または類似の方法で、教員らが生徒の理解を深める授業ができる（視覚的教材の使用、グループワークなど）

▽ヘルスセンター・Family Planning部門が 実際にどんなところで、どんなスタッフがいるか、何ができるかを知れば、Family Planning利用率はあがる（コンドーム購入者よりの増える、デポ・プロベラ利用者が増える、カウンセリング利用者が増える）

# 今後の計画...

---

▽正しい知識の提供 with 理科教員

⇒主にはReproductive Systemについてのレッスンと

緊急避妊ピルに頼らない避妊方法(Long term contraception)、

Dual protection(性感染症予防と妊娠予防)について

▽Family Planning部門やCHPS Officeへの見学ツアー

⇒ヘルスセンターへのハードルを下げる



ご清聴ありがとうございました^^✿